

5月20日、西成区民センターにおいて、大阪市教職員組合第71回定期大会を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症が、2類から5類になったことにより、来賓をお招きしての大会となりました。

はじめに、西部支部の中島代議員と南部支部の横山代議員を議長に選出し議事が進められました。

次に、主催者を代表して松岡執行委員長の挨拶、来賓を代表して大阪市会議員の森山さん、大阪教組の百済中央執行委員長から挨拶がありました。

そして、執行部より経過報告と23年度運動方針案ならびに当面の闘争推進案、22年度決算ならびに会計監報告、23年度予算案、定年延長に伴う組合費の取り扱いに関する件について提案がありました。

提案後の質疑では、以下の質問が出されました。

家原代議員（真住中分会）

- ・教職員の働き方改革について、給特法の廃止ではなく教職調整額の引き上げや担任手当、主任手当の支給などが検討されているが、長時間労働の解消にはつながらないのではないか。
- ・反戦平和について、辺野古署名の取り組みを未組合員の人にも声かけをして行ったが、若手の人たちは辺野古基地の問題を知らない。反戦や反改憲について、市教組としてどのように取り組んでいくのか。

柳井代議員（南中分会）

- ・病休者の代替配置が遅れている。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、今まであった特別休暇などの措置がなくなった。しかし感染がなくなったわけではないので、自分の子どもが感染したら年休を取らなければならない。こういったことを考えていく必要があるのではないか。

川原代議員（田辺中分会）

- ・人事評価制度について、給与への反映も含め評価制度には反対である。



横山代議員（左） 中島代議員（右）



森山市会議員 百済大阪教組委員長

大阪市教職員組合第71回定期大会が開催される！ 執行部原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認！

竹島代議員（天満夜間中分会）

- ・夜間中の統廃合反対署名へのご協力ありがとうございます。議案書では、義務教育である中学校の未修了者を問題視するべきではないのか。義務教育未修了者は、大阪府で42399人、大阪市では13633人である。

細見代議員（下福島中分会）

- ・議案書では、原発問題について丁寧に書かれているが、組合としてどういう運動をすすめていくのか。

南崎代議員（東三国中分会）

- ・維新の公約について、議案書には「今後の動向を注視」と書かれてあるが、見ているだけではなく、組合員の声やみんなの怒りを集めて議会に訴えていくことはしないのか。今後の方向性を出して欲しい。

討論には、15人が参加し、各現場の活動報告や市教組に対する要望、専門部の活動について、活発な意見が出されました。（裏面に掲載）

修正案では、川原代議員（田辺中分会）より、項目Ⅰのロシアのウクライナ侵攻に加筆、項目Ⅳ-3に対して評価制度の即時中止、項目Ⅳ-4-(4)に対して評価制度と一体となった研修制度の即時廃止、項目Ⅳ-3-(2)に対して共同学校事務室の実施反対の4点について提案されましたが、採決の結果、すべて少数否決されました。

修正案採決の後、第1号議案から第4号議案までの執行部原案の採決が行われ、圧倒的多数の賛成により原案が可決・承認されました。続いて、特別執行委員承認の提案を行い、稲田幸良さんが選出されました。そして、「平和憲法を護り、戦争のできる国づくりに反対する特別決議案」、「大会宣言案」、「スローガン案」が提案され、参加者の拍手をもって採択されました。最後に田辺副執行委員長の団結ガンバローで大会を締めくくりました。



市教組は、定期大会で承認された23年度運動方針をもとに、子どもたちに豊かな学びを保障し、よりよい教育条件の実現、働き方改革の推進、そして平和で民主的な社会の実現に向けて、引き続き全力で取り組みます。

= 討論 (要旨) =

宮尾代議員 (事務職員部)

事務職員部は 5/13 に定期大会を開催し、運動方針を決定。少数職種特有の課題や悩みを共有した。全てはこどもたちのために円滑な学校運営を!



柳井代議員 (南中分会)

勤務労働条件や生活を守るには、組合員を増やすことが大切。労働組合を知らない若者たちが増えている。組合の大切さを若者に呼びかけていこう。



高野代議員 (柏里小分会)

特別支援学級の学級減についての不安を解消してもらえた。また、昨年講師だった人が今年も残り組合に入ってくれた。市教組ニュースは、説明も必要。



井上代議員 (養護教職員部)

養護教職員からの脱退したいとの連絡。1人分会になって不安とのこと。少数職種だからこそ組合につながる事が大切と役員により説得。



米山代議員 (北巽小分会)

卒業式に校長からマスク外すように強要され現場は混乱。組合が即座に対応し、入学式では混乱もなく円滑に実施することができた。



竹島代議員 (天満中夜間分会)

文の里・天王寺の夜間学級がなくなると、高齢で通えなくなる人が増える。若い人でも働きながら通学している。市教組は今後も闘いの継続を。

戸田代議員 (長吉出戸小分会)

カムバックセミナーで不安解消し、職場復帰をスムーズに。いっしょにふえすたでは、学んだことを現場に返すことができた。人とのつながりを大切に。



木寺代議員 (野中小分会)

特別支援学級の入級について、療育手帳や診断書などが無いと入れなくなった。支援の必要な子が取り残されることのないように。



石原代議員 (鶴見橋中分会)

鶴見橋中には民族学級としての「朝問研」が残っている。仲間のルーツを知り、仲間を大切にする教育。大切なこだわりを若手につなげていく。

山下代議員 (南百済小分会)

9/2 市教組教研の会場を引き受けました。会場を引き受けたのは、未組合員の人たちに、組合の活動を知ってもらおうと思ったからです。



南崎代議員 (東三国中分会)

コロナ禍での権利獲得、女性部による権利行使、すべて組合がやってきたこと。一人ひとり弱くても、組合で結集すれば大きな力になる。



家原代議員 (真住中分会)

石垣島の青年の話。敵基地攻撃能力を持つことで戦争になれば自分の島が真っ先に攻撃されることに。今こそ反戦平和を子どもたちに伝えていこう。



山内代議員 (鯉江中分会)

ICT管理の大変さ、道徳の授業で人権教育が削減されている。多忙化により教職員が分断されている。組合でのつながりが必要。



大浦代議員 (栄養教職員部)

中学校給食、親子給食、アレルギー対応などで、全校に栄養教諭の配置が必要。山積している課題解決に向けて、市教組に結集して取り組んでいく。